

札幌市勤務医協議会ニュース

発行 札幌市勤務医協議会
札幌市中央区大通西 19 丁目
札幌市医師会館内

巻 頭 言

変化する環境と協議会の 在り方について思う

副会長 小林 尚子

協議会に参加して 5 年経過しました。振り返りますと、参加後すぐに女性医師勤務状況に関するアンケート調査に携わり、土田前会長をはじめ協議会役員の先生方や事務方皆さんのご協力のもと多くの貴重な意見を集積しました。結果は 30 周年記念誌で報告されましたが、多くの医師が現在の勤務状況の課題を考え、改善策が必要と感じていることを改めて知ることができました。その後「この調査の後はどうのような活動をする予定ですか」と問われたことがあります。勤務環境に関するアンケート調査は過去にも行われているが、その結果がどのように生かされ形にするかが課題である-という指摘です。当時は自身も、調査後の活動が重要と考えていました。例えば各施設における勤務環境改善の独自の工夫、対策などをインタビューして発信する-などの活動を考えてみましたが、実際は自身の空想に終わり、調査結果で示された改善策の実行にはつながりませんでした。行動を起こすこと、変化のきっかけを作ることは容易なことではないと感じました。

その後まもなく「働き方改革」が医療職にも及び、タスクシフティング・タスクシェアリングの導入や労働時間短縮のための指針などが出されました。トップダウンの改革により大きな動きが始まったようでしたが、実際には膨大な医師の仕事量、医師の不足や偏在化、病院経営の問題など、相反する点が多く解決策が見えないまま形だけの改革が進められる印象があり、環境改善には程遠く感じます。そんな中、新型コロナウイルスパンデミックが起り、働き方改革の話題は一変、医療者は再び長時間労働、過酷なストレス下での勤務を余儀なくされました。一方で、学会、講演会、会議など様々な集会在休止され、時間外勤務は明らかに縮小しました。今や会議はリモートで行うのがあたりまえになり、実際に顔をあわせての話し合いと異なり、いささか消極的で話の広がり小さくなってしまふ欠点もあるようですが、会議のための移動や準備時間の節約という

大きな利益がありました。幸か不幸かコロナ禍がもたらした変化は、日常生活だけでなく我々の職場環境をも大きく変えています。このような変化の中で、協議会の在り方も再検討する時期がきているのではないのでしょうか。

勤務医のための協議会であるためには、多くの勤務医の意見を反映ができるよう会員数増加が必須です。成田会長が就任時目標としてかかげたように、協議会の認知を拡大し参加医師を増やすことがなによりも必要であると痛感します。さらには情報発信方法や内容も工夫し、若い世代の先生方が参加し多くの意見を集積できるような形態となることが理想です。今の環境の変化に乗じて、勤務医の意見を反映できる協議会に進化することを期待します。

最後に、この度協議会の副会長を拝命し、高橋前副会長の業務を引き継ぎましたことをご報告します。会長ならびに役員の方々とともに協議会がより有益に継続できるよう活動したいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

部 長 就 任

総務部長就任

～コロナ禍の中で～

総務部長 川田 将也

このたび勤務医協議会総務部長を拝命いたしました斗南病院呼吸器・乳腺外科の川田将也です。コロナ禍において活動は制限されておりますが、会の発展のためできる限り貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願申し上げます。

この原稿は 2021 年 6 月 20 日に執筆しています。イギリス型変異ウイルスが猛威を振った第 4 波の中で発令された北海道を含む緊急事態宣言は沖縄県を除き解除となりました。まん延防止等重点措置の適応に移行します。休業を要請されていた酒類を提供する飲食店も時短営業が認められましたが、酒類の提供は午後 7 時まで営業は 8 時までと制限付きです（札幌市）。札幌市内の医療体制は一時崩壊しましたが、今は感染者の減少とともに少し持ち直してきました。ただし抜本的な病床増床、救急・外来・後方支援などの役割分担についてはまだまだ解決されていない

課題が残っています。感染対策の決め手と期待されるワクチン接種は、札幌市ではようやく65歳以上の接種が始まったばかりです。接種率は全国でみると最下位。職域接種が開始となりどこまで接種率の増加が期待できるでしょうか。東京五輪・パラリンピックはどうやら開催されるようですが、観客を入れるのか入れないのかが未だ決まっています。札幌でもサッカー予選、競歩、マラソンなどが予定されています。インド型デルタ株の流行が本州では始まりつつあります。五輪が第5波の引き金にならないければいいのですが。このニュースが発行されたとき世の中はどのようになっているのでしょうか。過去を振り返るための備忘録としてここに記しました。

やはりこのご時勢コロナの話題から離れることはできませんが、できるだけ軽い話題にしたいと思えます。TVのクイズ番組などで見かける問題です。以下のものはコロナによって増えたでしょうか、減ったでしょうか。①救急搬送数、②病床利用率、③非正規雇用者、④年金受給額、⑤東京都人口、⑥大阪府人口。答えと解説です。①増。②減、コロナ患者の病床確保にあれだけ苦勞しましたがベッドはまだまだ余っているのですね。コロナ以外での入院適応も厳しくなっているのでしょうか。③増。④減、年金受給額は制度が変わり現役世代の賃金水準の低下に合わせ減額となりました。⑤減、東京は住居費など生活にかかるお金が高いため、リモートワークが増えたためなどが理由です。⑥増、大阪は東京に比べるとそれほどでもないということのようです。コロナ禍では一般的に人口は地方から都心に移動しています。

同じようにコロナによって増えたものを一つご紹介します。朝日新聞2021年6月11日夕刊からの引用です。「新型コロナウイルス流行によるマスクの大幅な消費量の増加が、海洋プラスチックごみ問題に拍車をかけている。マスクの多くは実はプラスチック製だ。海に流れ出たマスクは1年間に15億枚との環境団体の試算があり、野生動物の命を脅かす例も報告されている」不織布マスクやウレタンマスクは、ポリプロピレン、ポリウレタン、ポリエチレン、ポリエステルといった化学繊維（プラスチック）から出来ているそうです。2020年に世界で生産されたマスクが520億枚、その約3%の15億枚が海に流出していると推計されています。耳ひもに絡まった海鳥や魚や、ペンギンの胃の中からマスクが発見されました。環境問題は一般的に政治やお金に絡んだ臭いにして少し盛った印象もありますがおおむね事実なのでしょう。今後どのような展開となるか少し注目してみます。

最後にもう一つ問題です。札幌市におけるマスク

のごみ分別の扱いがどのようになっているかご存じでしょうか。調べた限りでは「マスク」という項目は最新の2018年版ごみ分けガイドにはありませんでした。COVID-19の流行は2018年には予測できなかったということです。当然ですが。

会計部長就任にあたり

会計部長 南雲 淳

この度私は勤務医協議会の会計部長に就任することになりました。とは言え業務内容などは十分な把握も出来ていませんので、関係者各位には大変ご迷惑をお掛けすることになるかと思いますが、どうぞご容赦頂ければと思います。

この会に所属して何となく年月が過ぎていまして、今まではいくらかでも運営の役に立つことが出来ればとだけは思っていました。でも今後は気を引き締めてやっていこうと考えています。

私のように道外大学出身でしかも小児科医、となると付き合いが何かと狭くなりがちですので、この会を通じては新鮮な刺激を頂いています。そこで垣間見る諸先生がたの働きぶりとも比べ、勤務医として自分がどう過ごしているかはそろそろしっかり見つめ直す歳であるとは思っています。

役員に時折回って来る「勤務医協議会ニュース」のエッセイには日頃思っていることを自由に書かせて頂いています。これは意外に反響もありました。このところは酒をやめた（結局断念）とか、車をやめたとか、「やめた」シリーズになっていますが、同じような内容の本が出版されていることに最近気づき、嬉しくなりました。仕事でもプライベートでも、何か思いついたことを新たに「始めて」自分を変えていくことにとっても興味を持っています。この歳になって今さら、と言われそうですが、むしろこれからは老勤務医の働き方にも注目されるべきでしょう。還暦過ぎたら「第二の人生」だと思っています。今よりも楽しければ良いなぁと思っていますが……。

勤務医としての働き方についてはいろいろ持論がありますが、ただの時代遅れな発想に過ぎないのかも知れず、それが正しいかどうか、自分の中での結論も出ていません。でも今後、正しいと考えられることがあれば何らかの変化を自己にでも社会にでも求める必要はあるのかも知れません。

勤務医協議会が、考えて変化を求めて行動する会、だとは……少なくとも今はないように思いますが、今後どういった活動をしていくのか、少しずつでも道が拓けるとよいと思います。

何はともあれ、微力ながらお役に立てればと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

第33回札幌市勤務医協議会
定時総会について

札幌市勤務医協議会定時総会を例年5月に開催して
おりましたが、5月16日に北海道に対し緊急事
態宣言が発令されたことを受けまして、昨年に引続
き、書面にて皆様のご承認を頂くこととなり、会員
210名の内、78名のご回答を賜り、会員3分の1以
上のご返事により総会は成立いたしました。会員の
皆様におかれましては、お忙しいところご回答をい
ただきまして、誠にありがとうございます。

《報告事項》

- 第1号 令和2年度事業報告について
承認 78名 否認 0名
- 第2号 令和2年度会計収支決算について
承認 78名 否認 0名

《協議事項》

- 第1号 令和3年度事業計画(案)に関する件
承認 78名 否認 0名
- 第2号 令和3年度会計収支予算(案)に関する件
承認 78名 否認 0名
- 第3号 役員改選に関する件
承認 78名 否認 0名

(ご意見)

- ・オンラインでの開催をご考慮頂きたい。(1名)

札幌市勤務医協議会会則(抜粋)

(総会の議決等)

第12条 次の事項は、総会の議決又は承認を受けなけれ
ばならない。

- (1)会則の変更に関する事項
- (2)事業計画及び収支予算に関する事項
- (3)事業報告及び収支決算に関する事項
- (4)その他本会に関する重要な事項

第13条 総会は、会員の3分の1以上の出席がなければ
開会することができない。

- 2 総会の出席は、委任状をもってこれに代えることができる。
- 3 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否
同数のときは、議長の決するところによる。

令和2年度札幌市勤務医協議会事業報告

月日	事業内容
4.8	・第1回役員会 第1号 第32回札幌市勤務医協議会定時総会 関連事項 第2号 各部における今後の事業活動について ①令和2年度札幌市勤務医協議会産 業医研修会 ②第41回全国医師会勤務医部会連 絡協議会 ③第25回札幌市勤務医協議会ゴル フ大会(札幌市病院協議会と合同開催) ④勤務医委員会・札幌市勤務医協議 会・札幌市病院協議会との懇談会
4.15	・『勤務医協議会ニュース No.54』発行
7.1	・『勤務医協議会ニュース No.55』発行
9.28	・第2回役員会 第1号 第32回札幌市勤務医協議会定時総会 関連事項 第2号 令和2年度産業医研修会 第3号 その他
11.11	・第32回定時総会(書面開催) 1. 報告事項 第1号 令和元年度事業報告 第2号 令和元年度会計収支決算 第3号 令和元年度監事報告 第4号 その他 2. 協議事項 第1号 令和2年度事業計画案に関する件 第2号 令和2年度会計収支予算案に關 する件 第3号 その他 ※記念講演会は新型コロナウイルス感染拡大 防止のため延期
R3.15	・『勤務医協議会ニュース No.56』発行
3.1~ 3.15	・第41回札幌市病院学会(WEB開催) 演題数:86題(26医療機関) 参加者:165名 令和3年3月31日現在会員数 210名 (前年度比-8名)

令和2年度札幌市勤務医協議会収支決算報告

【収入】

項目	予算額	収入額	増減比	摘要
会費	654,000	467,667	-186,333	会費(159名)
札医 交付金	400,000	400,000	0	札医交付金
雑収入	1,000	14	-986	預金利息
繰越金	1,196,321	1,196,321	0	前年度繰越金
計	2,251,321	2,064,002	-187,319	

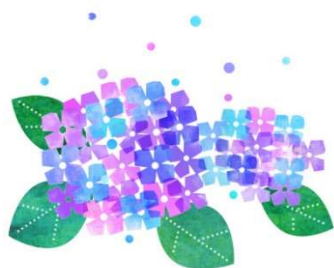
【支出】

項目	予算額	支出額	増減比	摘要
会議費	500,000	63,000	-437,000	役員会費用弁償
事業費	800,000	182,669	-617,331	病院学会経費外
通信費	400,000	124,411	-275,589	ニュース発送外
慶弔費	100,000	20,000	-80,000	香典
事務費	100,000	60,000	-40,000	事務協力費
予備費	351,321	0	-351,321	
計	2,251,321	450,080	-1,801,241	

(収入額) - (支出額) = (次期繰越額)
2,064,002円 - 450,080円 = 1,613,922円

令和3年度事業計画

No	事業項目	予定回数	担当部	備考
1	総会	1	総務部	
2	講演会	1	総務部	(例年は総会と同日開催)
3	役員会	6回以内	総務部	
4	部長会	適宜	総務部	
5	学術講演会	1	事業部	2月病院協議会と合同
6	産業医研修会	1 (主催) 2~3 (共催)	事業部	主催:11月頃開催 共催:産業医協議会と調整して開催
7	勤務医委員会・病院協議会との懇談会	1	総務部 事業部	全国勤務医部会開催後予定
8	病院学会共催	1	事業部	2月開催予定
9	札幌市勤務医協議会ニュース発刊	適宜	総務部	随時発刊予定
10	札医通信執筆	適宜	総務部 会計部 事業部 厚生部	勤務医協議会活動について(ゴルフ大会報告等)
11	全国医師会勤務医部会連絡協議会	1		WEB開催(担当:京都府)
12	ゴルフコンペ	1	厚生部	病院協議会と合同(例年は5月に開催)



「札幌市勤務医協議会ニュース」の閲覧について

「札幌市勤務医協議会ニュース」を札幌市病院協議会のホームページに掲載しております。

バックナンバーも閲覧できますので、是非ご覧ください。

札幌市病院協議会ホームページ URL

<https://www.sapporo-byoinkyo.jp/>

令和3年度札幌市勤務医協議会収支予算

【収入】

項目	予算額	(前年度)	増減比	摘要
会費	630,000	654,000	-24,000	会費(210名)
札医交付金	400,000	400,000	0	札医交付金
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息
繰越金	1,613,922	1,196,321	417,601	前年度繰越金
計	2,644,922	2,251,321	393,601	

【支出】

項目	予算額	(前年度)	増減比	摘要
会議費	500,000	500,000	0	総会経費外
事業費	800,000	800,000	0	各部事業活動等
通信費	400,000	400,000	0	各種会議等開催案内等
慶弔費	100,000	100,000	0	弔慰見舞
事務費	100,000	100,000	0	事務用消耗品外
予備費	744,922	351,321	393,601	
計	2,644,922	2,251,321	393,601	

※第33回定時総会(書面開催)で会員の皆様のご承認を頂いておりますが、今年度の各種事業につきましては新型コロナウイルス感染拡大防止の為、延期または中止の場合がございますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

新執行部

- ・ 会長 成田 吉明 (手稲溪仁会病院)
- ・ 副会長 鶴間 哲弘 (JR札幌病院)
- 小林 尚子 (中橋内科クリニック)
- ・ 幹事 吉田 祐一 (東苗穂病院)
- 南雲 淳 (手稲溪仁会病院)
- 鷺見 佳泰 (中村記念南病院)
- 宮本 憲行 (NTT東日本札幌病院)
- 川田 将也 (斗南病院)
- 澤田 格 (西岡病院)
- 占部 和之 (札幌南一条病院)
- 中川 麗 (J R札幌病院)
- (札医理事)
- ・ 監事 大岩 彰 (愛全病院)
- 水尾 仁志 (勤医協中央病院)
- ・ 議長 三橋 公美 (札幌北辰病院)
- ・ 副議長 真尾 泰生 (勤医協中央病院)
- ・ 顧問 今 真人
- 平賀 洋明
- 田中 靖通
- 松波 己
- 工藤 靖夫
- 土田 哲人
- ・ 参与 桂田 光彦

※「札医理事」については管掌部に人選を依頼中